

取扱説明書



HANDCRAFTED IN DENMARK BY T-REX EFFECTS



安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された付属のアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

はじめに

この度は、T-REX Effects/BINSON STEREOPHONICA をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、BINSON STEREOPHONICA についてご紹介します。

スタジオエンジニアやミュージシャンのために、より優れたトーンとサウンドを追求し続けた結果、私たちは STEREOPHONICA を開発するに至りました。その核心にある回転ドラムが、唯一無二でありながら誰もが耳に覚えのある、シグネチャー・ステレオ・ディレイサウンドを生み出します。

新しい BINSON STEREOPHONICA では、さらに一歩進め、MIDI を搭載することで本機の主要機能をコントロールできるようになりました。本マニュアルには、図版と解説を含む詳細な説明が記載されています。長年にわたる徹底した研究により、私たちはこの卓越した精密機器を再び世に送り出すことができました。ぜひその機能をしっかりと把握してご活用ください。この BINSON STEREOPHONICA は、最高水準のエンジニアリングとオーディオクオリティで製造されています。マニュアルに記載された適切なメンテナンスを行っていただければ、長年にわたってトラブルなくご使用いただけます。

BINSON STEREOPHONICA は、マスタリングプロセスにおいても、またボーカルやオーディオ信号を通過させる際にも、あらゆるステレオ音源にエコーやスウェルを付加します。原音のリピートやリバーブレーションは、シングルにもマルチにも、お好みに応じて設定可能です。このエフェクトは、かつて大型エコーチェンバーやオリジナルの BINSON ECHOREC によってのみ得られた奥行きと鮮やかさを加えながら、まったく新しいサウンドを創り出すものです。そして今、それがステレオで実現されました。

STEREOPHONICA の心臓部は「マジックドラム」です。精密なエンジニアリングの産物でありながら、設計はシンプルで、堅牢かつ安定した構造を持ち、最小限のメンテナンスで長年にわたってトラブルなく動作し続けます。

注意：本製品はマグネティックドラムを使用したフルアナログ機器のため、各セクションの設定値・表示値には最大± 20% 程度の許容誤差が生じる場合がございます。出荷前には弊社にて調整・検品を行っておりますが、輸送時の振動や温度・湿度の変化など様々な要因により、この誤差幅は変動することがございます。あらかじめご了承ください。

フロントパネルのコントロール

Gain (ゲイン)

録音ヘッド1および2の入力レベルをコントロールします。入力信号の強さによっては、このコントロールを上げると録音ヘッドがサチュレーション（飽和）状態になります。メーター（ピークパワーレベル）で入力信号の強さを視覚的に確認できます。サチュレーションが深いほど、メーターの値は高くなります。設定値を高くすると、リピートはよりコンプレッションがかかり、歪みがかってざらついたサウンドになり、倍音成分も増加しますのでご注意ください。

注意：BINSON STEREOPHONICA は非常に高い入力信号にも対応していますが、入力信号が大きくなるほど録音ヘッドは早くサチュレートします。原音とエフェクト音の最適なブレンドが得られない場合は、本機への入力信号を下げてください。

ヒント：最良の S/N 比（シグナル/ノイズ比）を得るには、Gain を上げて Echo Volume を下げてください。

Echo Tone (エコートーン)

トーンコントロールは、ディレイ信号とフィードバックの高域成分（カットオフ @ 400 Hz）を調整します。また、ドラムの回転速度が上がった際の高域バランスを整えるためにも使用します。

Echo (エコー)

ドラムからのエコー信号と、直接出力されるドライ信号とのブレンド量をコントロールします。まず 12 時の位置を基準に設定し、エコーらしいサウンドになるよう調整することをお勧めします。Gain と Volume も合わせて調整が必要です。このコントロールを最大（時計回り）に近づけるほど、ドラムからのノイズが増加しますが、これはこのユニット本来の魅力であり、サウンドの一部です。また、サウンドに倍音成分が加わります。

MIDI によるコントロールにも対応しています。

録音ヘッドセレクタースイッチ

録音ヘッド1：ショートディレイ。オリジナル機を正確に再現しています。

録音ヘッド2：ロングディレイ。録音ヘッド1の3倍の距離に位置しています。

Drum Speed (ドラムスピード)

ドラムの回転速度を決定するコントロールです。中間位置では、オリジナルの BINSON ECHOREC と同じ毎分 32 メートルの速度でドラムが回転します。回転速度は± 20% の範囲で調整可能です。低速では低域が増強され、高速ではより明るいサウンドになります。また、速度を前後に素早く変化させることでワイルドなエフェクトを生み出すこともできます。さらに、MIDI およびエクスプレッションペダルによるコントロールにも対応しています。

注意：ドラムの重量により、コントロールを操作してから実際に速度が変化するまでに、加速・減速のランプタイムが生じます。

録音ヘッド1（ショート）と再生ヘッドの間隔は、オリジナルの BINSON ECHOREC と同一です。ドラムの直径が小さくなっても、同じディレイタイムを得ることができます。

注意：録音ヘッド1と2の距離の違いにより、バイアス電気特性の影響でトーンに差異が生じる場合があります。

ヒント：ドラムスピードを速くすると、高域成分がより強調されます。トーンコントロールを反時計回りに回すことで、高域をロールオフさせることができます。

エコー再生ヘッド1～4セレクタースイッチ

4つの再生ヘッドをオンにするには、任意のスイッチを押してください。押すとスイッチが点灯します。音量とバランスはそれぞれ個別に調整可能です。

Volume（ボリューム）コントロール：各再生ヘッドの再生アンプの出力レベルをコントロールします。

Balance（バランス）コントロール：左右チャンネルのバランスを調整します。

ヒント：複数の再生ヘッドを同時に使用する際、各信号のパンニングを左右に振り分けることで、非常に広いステレオ定位を得ることができます。また、信号が異なるレベルで左右に行き来するバウンス感を体感できます。

※ Volume および Balance は、ドラムやヘッドの状態によってそれぞれ誤差が生じる場合がございますので、実際の出力サウンドをご確認いただきながら、コントロールを適宜調整してください。

Delay Time(ディレイタイム)

以下の表は、ドラムスピードが中央位置の場合のディレイタイムを示しています。ドラムスピードが早いほど、ディレイタイムも早くなります。

録音ヘッド 1 - SHORT			
	Drum Speed 最小	Drum Speed 中央	Drum Speed 最大
再生ヘッド 1	87 ms	61 ms	46 ms
再生ヘッド 2	173 ms	122 ms	93 ms
再生ヘッド 3	260 ms	182 ms	139 ms
再生ヘッド 4	347 ms	243 ms	185 ms

録音ヘッド 2 - LONG			
	Drum Speed 最小	Drum Speed 中央	Drum Speed 最大
再生ヘッド 1	270 ms	190 ms	144 ms
再生ヘッド 2	358 ms	250 ms	190 ms
再生ヘッド 3	443 ms	310 ms	236 ms
再生ヘッド 4	531 ms	370 ms	283 ms

Repeat（リピート）

リピートの回数をコントロールします。リピートは出力信号を入力にフィードバックすることで生成されます。適度なレベルでは自然なディケイを生み出し、さらに上げるとセルフオシレーション（発振）が起こり、信号にわずかな揺らぎやローファイな質感が加わります。リピートの回数はドラムスピードによって変化します。

MIDI によるコントロールにも対応しています。

Repeat / Swell セレクタースイッチ

Repeat（リピート）モード：通常のエコーユニットと同様の動作をします。リピートの回数は Repeat コントロールで調整します。複数の再生ヘッドを選択するとレベルが変化するため、Repeat コントロールを再調整する必要があります。

Swell（スウェル）モード：4つの再生ヘッドがすべて有効になる、セミリバーブのような効果です。4つの再生ヘッドがすべてオフの場合、リピートなしのスウェルが得られます。スウェルは再生ヘッド1～4のセレクターとは独立して動作します。

ヒント：再生ヘッド1～4をオンにすることで、スウェルに異なるリピートを組み合わせた実験ができます。

Bypass コントロールスイッチ

本機がオンの状態ではスイッチが点灯します。Bypass スイッチを 2 秒以上長押しすると、バイパスモード中にドラムの回転が停止します。

MIDI によるコントロールにも対応しています。

MIDI によるコントロール

以下の機能を外部 MIDI デバイスからコントロールすることができます。

- Bypass
- 再生ヘッド 1 ～ 4 (オン／オフ)
- ECHO、SPEED、REPEAT (0 ～ 127 ステップ)

MIDI OUT は、BINSON STREOPHONICA 本体のパラメーターまたはスイッチが操作された場合にのみ信号を送出します。外部から受信した MIDI コマンドは MIDI Out には送付されません。

MIDI コマンド	
Bypass	CC#20
Playback head 1	CC#21
Playback head 2	CC#22
Playback head 3	CC#23
Playback head 4	CC#24
ECHO	CC#25 (Value: 0-127)
SPEED	CC#26 (Value: 0-127)
REPEAT	CC#27 (Value: 0-127)

MIDI CH の設定

背面パネルにある 4 ピン DIP スイッチを使用して、MIDI CH を変更できます。



リアパネルのコントロール

Instrument In (インストゥルメント入力)

このインプットジャックは、楽器の倍音成分を損なわないよう、高インピーダンスバッファ回路を採用しています。特にパッシブピックアップに効果的です。1/4" ジャックの隣にあるポテンシオメーターで個別にレベル調整が可能です。

Balanced Input (バランス入力)

左右の入力は XLR とのコンボ端子および 1/4" ジャックで接続します。
なお、1/4" ジャックはバランス接続には対応していません。

Balanced Output (バランス出力)

左右の出力は XLR および 1/4" ジャックで接続します。

Ground Lift (グラウンドリフト)

シャーシと XLR 接続のグラウンドを接続または切り離します。

Power Supply In (電源入力)

DC 24V 350mA の電源入力端子。必ず付属の電源アダプターをご使用ください。

Kill Dry (キルドライ)

エコー信号に混合される直接音（ドライ信号）を除去します。
本機をシステムのバスセンドまたは AUX ループに組み込む場合にご使用ください。

EXP. Pedal — Speed Control (エクスプレッションペダル：スピードコントロール) 1/4" ジャック

ステレオ TRS ジャック対応のエクスプレッションペダルを使用して、ドラムの回転速度を ± 20% の範囲でコントロールしたいプレイヤー向けの接続端子です。

EXP. Pedal — Feedback Control (エクスプレッションペダル：フィードバックコントロール) 1/4" ジャック

ステレオ TRS ジャック対応のエクスプレッションペダルを使用して、エコーのリピート／フィードバック量をコントロールしたいプレイヤー向けの接続端子です。

MIDI In / MIDI Out

標準 MIDI ケーブルを使用してください。
外部 MIDI ソースから MIDI 情報を受信し、前述の MIDI パラメーターに基づいて MIDI 情報を送出します。

Power Switch (電源スイッチ)

本機の電源を ON/OFF します。

メンテナンス

BINSON STEREOPHONICA の可動部品およびマグネティックヘッドは、定期的な清掃が必要です。本機を頻繁にご使用の場合は、より高い頻度での清掃をお勧めします。付属の小型ツールボックスには、オリジナルの BINSON 専用オイルと特製リントフリークロスが含まれています。

ドラムおよびマグネティックヘッドの清掃

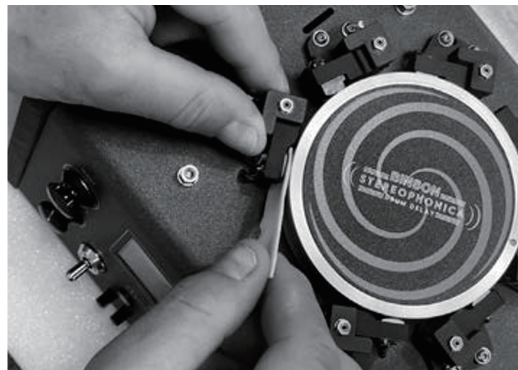
1. 本機の電源をオフにし、カバーを取り外します。
2. 使用初期の段階では、定期的にドラムの清掃を行うことを推奨します。
3. イソプロパノールアルコールを含ませたリントフリークロスを使用します（ティッシュペーパーで余分な液体をあらかじめ拭き取ってください）。録音ヘッド 1 と 2 の間にあるアクセスポイントからドラムを丁寧に清掃します。
4. ドラム上部に指を当て、反時計回り（CCW）にドラムを回転させます。クロスに残留物が付着しなくなるまで、必要に応じて手順を繰り返してください。
5. マグネティックヘッドを清掃します。ヘッドとドラムの間に紙を挟み、ヘッドを固定しているブラケットをゆっくりと引き出して紙を挿入しながら、ドラムを繰り返し回転させてください。

ドラムの潤滑

1. 本機の電源をオンにし、最低速度に設定します。
2. オリジナルの Binson 専用オイルを含ませたリントフリークロスを使用します（ティッシュペーパーで余分な液体をあらかじめ拭き取ってください）。録音ヘッド 1 と 2 の間にあるアクセスポイントからドラムに丁寧にオイルを塗布します。



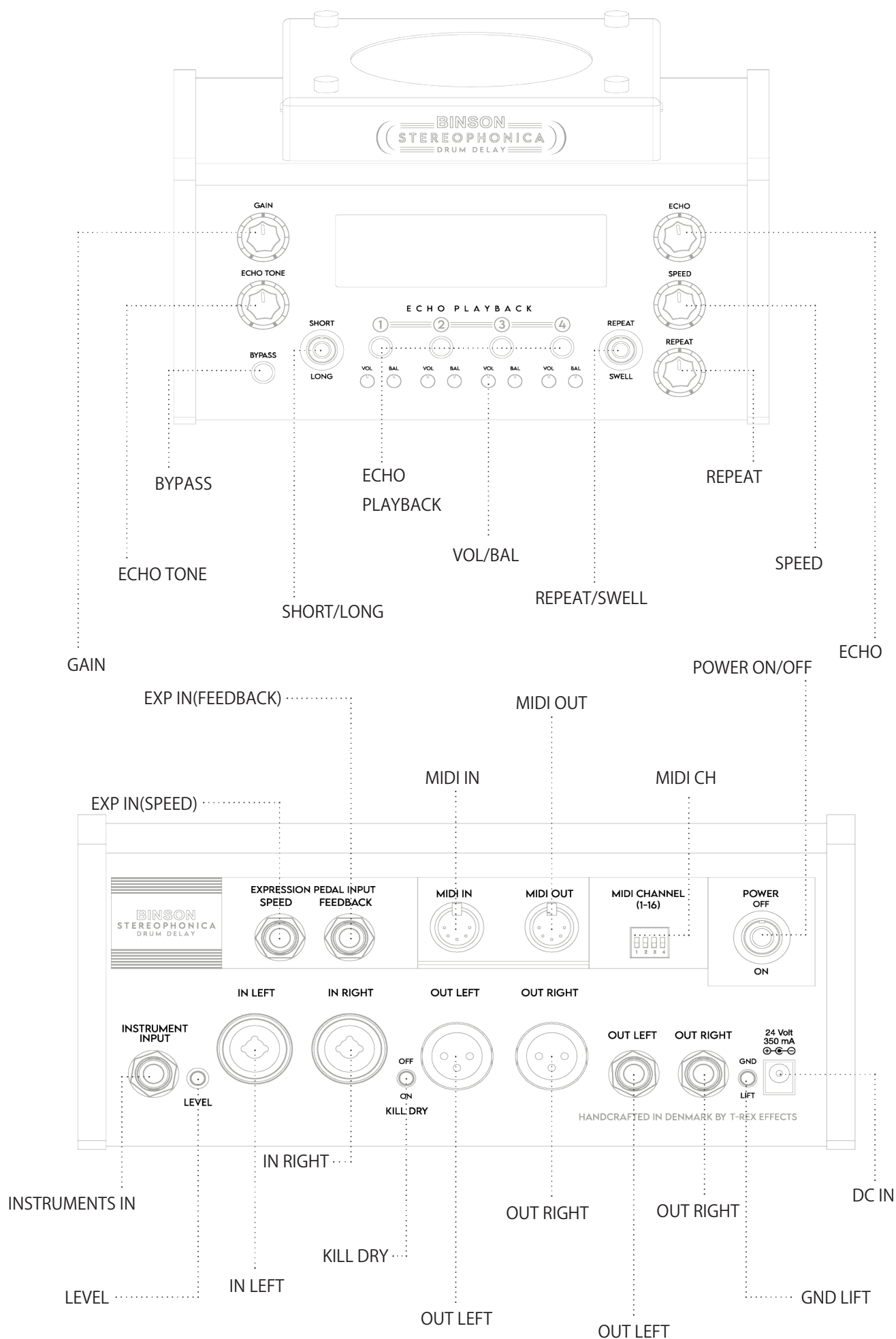
画像 1：ドラムのクリーニング



画像 2：ヘッドのクリーニング



画像 3：ドラムの潤滑（オイル塗布）



仕様

INPUT	1/4" TS(アンバランス) x 1, XLR コンボ (バランス *) x 2
INPUT インピーダンス @1kHz	500 k Ω
OUTPUT	1/4" TS(アンバランス) x 2, XLR(バランス) x 2
OUTPUT インピーダンス @1kHz	1 k Ω
最大入力レベル	2.5~3.0 Volt pp, INSTRUMENTS INPUT レベル調整可能
電源	24 VDC 2.0 mm センターマイナス
消費電流	350 mA(アダプター付属、電池駆動不可)
サイズ (H x W x D)	142 x 250 x 224 mm
重さ	03.34 kg

*XLR コンボジャックの 1/4" ジャックは、アンバランスとなります。

T-REX Effects 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒 105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

MEMO



Lars Dahl-Jørgensen
Founder



Sebastian Jensen
Founder



Lars Dahl-Jørgensen
& Sebastian Jensen
Founder & Owner of
T-Rex Effects - Denmark

